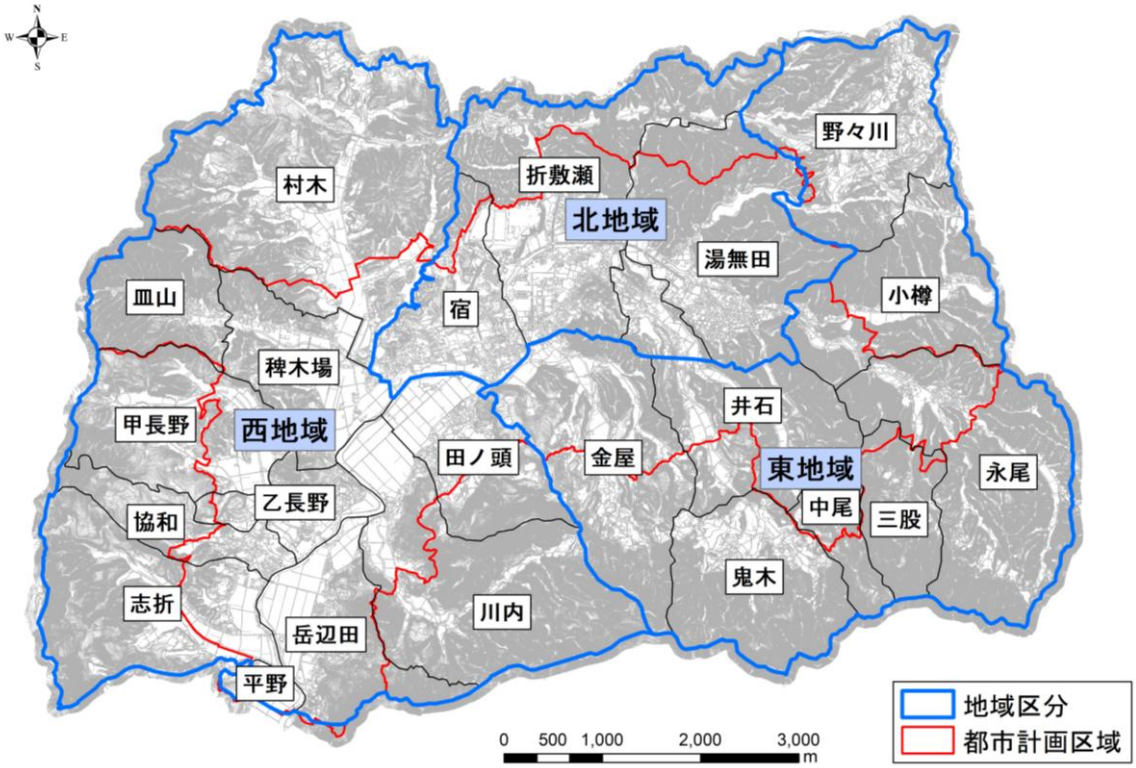
第 5 章　地域別構想

地域別構想として、波佐見町の将来都市像の実現に向けて、それぞれの地域の特徴に合わせたまちづくりについての整備、保全等の方針を以下に示します。

本計画では、地域特性や規模等を踏まえ、郷の集合体として構成する地域を、3 つ(北地域、西地域、東地域)に区分します。



■　地域区分図

行政区域		
西地域	**北地域**	**東地域**
村木郷	宿郷	野々川郷
皿山郷	折敷瀬郷	小樽郷
稗木場郷	湯無田郷	永尾郷
田ノ頭郷	井石郷（北部）	中尾郷
川内郷		三股郷
甲長野郷		鬼木郷
乙長野郷		金屋郷
協和郷		井石郷（南部）
志折郷		
平野郷		
岳辺田郷		

1. 北地域のまちづくりの方針

(1)北地域の現況

【人口】

・宿郷、折敷瀬郷、湯無田郷と井石郷の北部で構成されており、3 地域の中で最も人口が多い地域で、地域全体では近年横ばいで推移しており、世帯数は増加しています。

・郷別の人口推移では、宿郷は増加し、折敷瀬郷は横ばい、湯無田郷と井石郷は減少しています。

【土地利用】

・地域の北部は山地、南部は平坦地で、ほぼ中央を川棚川が北東から南西へと流下しており、川棚川に沿って水田が広がっています。

・3 地域の中で最も市街地としての土地利用比率が高く、幹線道路沿道に商業用地が分布し、工業用地、住宅地が広がっています。

・本町の基幹産業である窯業の中心地区であり、窯元の工場や店舗が立地しています。

・西ノ原土地区画整理事業を実施しており、西ノ原を含む井石地区では、都市再生整備計画事業による災害に強い都市形成と活気に満ちあふれた安全で安心なまちづくりを進めています。

【地域資源】

・西九州自動車道が東西に横断し、広域的な玄関口である波佐見有田インターチェンジがあります。

・公共施設や生活サービス施設が多く立地しています。

・都市計画公園であるやきもの公園は、毎年ゴールデンウィークに開催する波佐見陶器まつりのメイン会場となっており多くの観光客が訪れます。公園内の陶芸の館では、年間を通じて波佐見焼の歴史を学ぶことができ、波佐見焼を購入する観光客が多く訪れます。

・湯無田郷の南部の市街地には、窯元の煙突が点在しています。

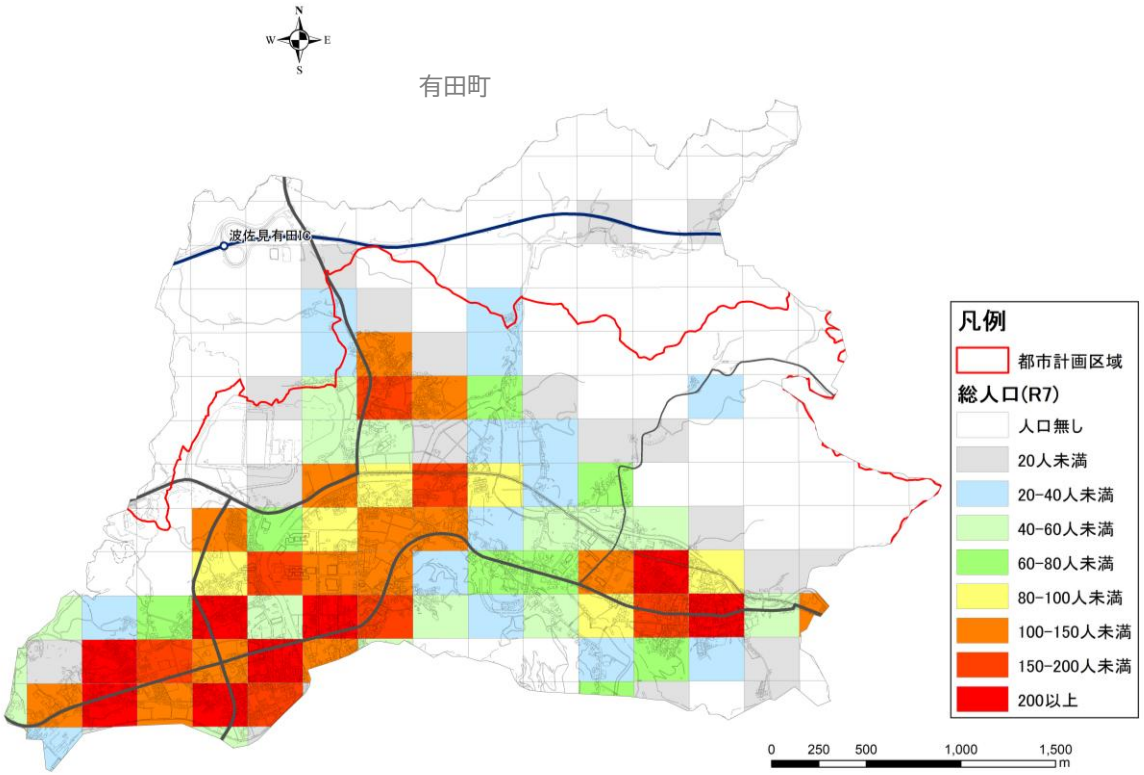
・南西部に位置する宿郷には、本町最大の猪狩池があります。

・国登録有形文化財の旧波佐見町立中央小学校講堂兼公会堂、湯無田郷に町指定無形民俗文化財の山中浮立があります。

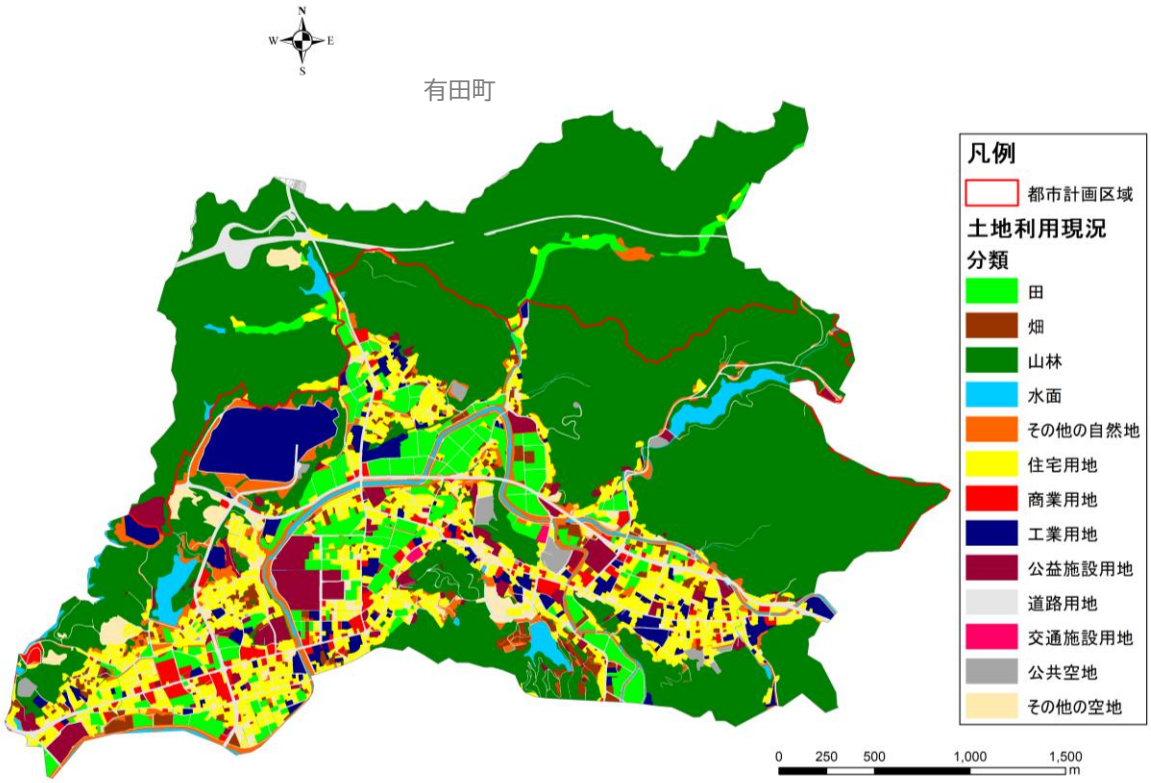
・波佐見町歴史文化交流館では、先史から現代に至るまでの波佐見の長い歴史と多彩な文化について、多くの貴重な歴史的資料によって、分かりやすく学ぶことができるように展示されています。



波佐見陶器まつり



■ 北地域　令和 7 年総人口　250m メッシュ図(住民基本台帳)



■ 北地域　土地利用現況図

(2)北地域の課題

【土地利用･市街地整備】

・主要地方道佐世保・嬉野線沿道において、個人商店が減少している一方、新たな店舗が立地し、農地転用により幹線道路沿道や市街地の縁辺部での住宅開発が進み、自然環境が減少しています。
・湯無田郷には空家が点在しており、地域の活性化やにぎわい創出のため、利活用についての対策が求められます。
・高齢化に伴い、耕作放棄地によって耕作条件が不利な農地の遊休化が進んでいます。
・山林所有者の高齢化や担い手不足などにより、スギ・ヒノキ人工林の間伐が遅れるなど、十分な管理がなされていない状況です。
・イノシシ等による農地の鳥獣被害が多く見られます。

【道路･交通】

・高齢者や児童等の交通弱者が、安心できる歩道の整備が必要です。
・波佐見陶器まつりなどの大規模イベント開催時における交通混雑が発生しています。
・路線バスの廃止（嬉野有田線）により、高齢者や高校生の移動手段となる公共交通の利便性が低下しています。

【公共公益施設】

・新築・改築を行った施設を除き、建築後 30 年を超えた施設が多く、一般的に大規模改修が必要と言われており、老朽化が懸念されます。

【みどり･景観】

・都市計画公園を安全で快適に利用するため、長寿命化などの適切な維持管理が必要です。
・住宅開発により、山林や農地等の自然環境が減少しています。

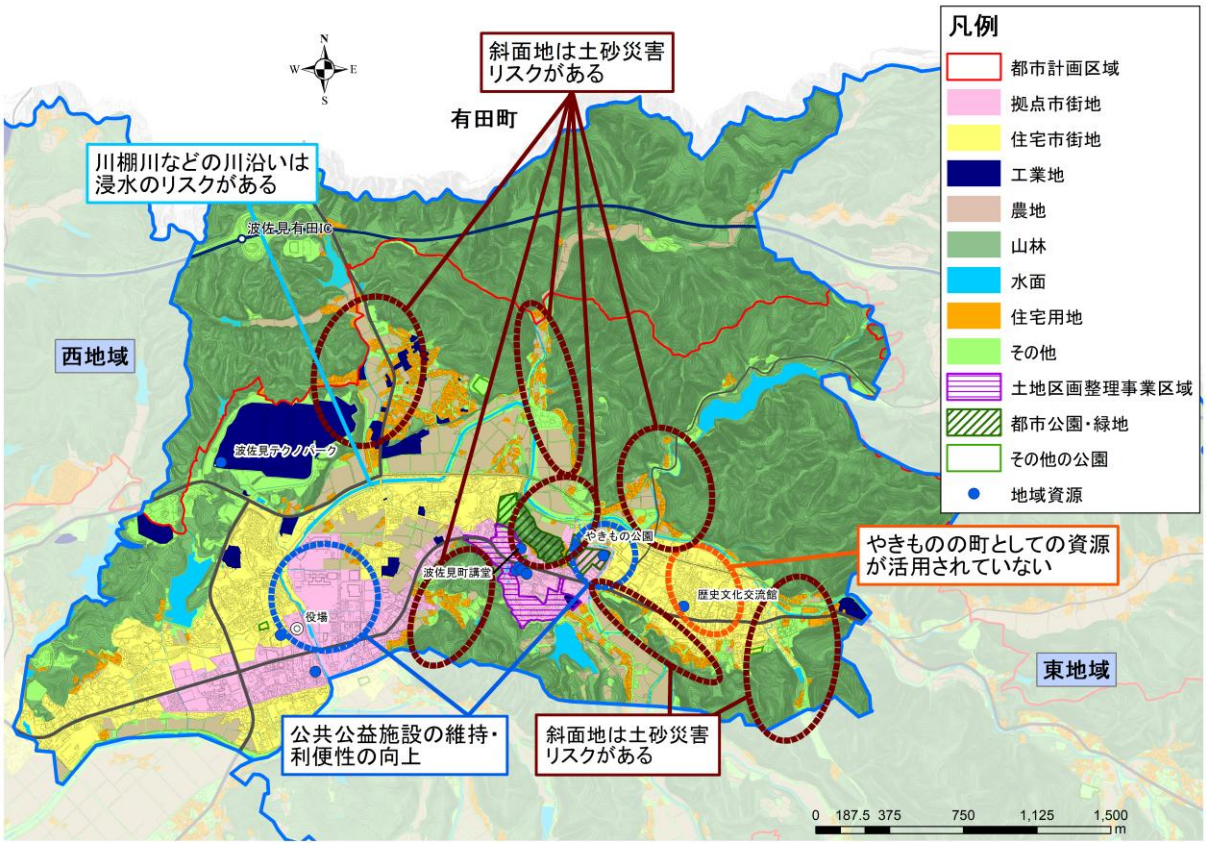
【防災】

・集中豪雨や台風などの際に、想定最大規模の降雨による川棚川等の河川浸水のリスクや、ため池の堤防決壊等による浸水リスクが高い地区があります。
・大規模災害時に急傾斜地の崩壊による、住宅の倒壊、主要幹線道路が閉塞するリスクがあります。

【生活環境】

・波佐見焼の歴史・文化を感じられる地域資源の有効活用による、地域活性化や観光振興が求められます。
・山中浮立の後継者の育成、確保が必要です。

■北地域　課題図



□施設等　□水害　□土砂災害　□地域資源等

（3）北地域のまちづくりの目標と方針

■北地域のまちづくりの目標

やきものの町　波佐見らしい中心拠点と市街地の形成

・本町の地域資源である窯業・農業・観光業をはじめとする多様な産業間の有機的な連携を促進し、地域経済の好循環と新たな活力を創出する中心拠点づくりを推進します。

・都市機能が集積しにぎわいと交流を生み出す「中心拠点」と、ゆとりある良好な住環境を有する「居住促進区域」を適正に維持し、波佐見らしい拠点市街地の形成を図ります。



役場



かわたな・はさみタウンバス



やきもの公園



波佐見町講堂



波佐見町歴史文化交流館



山中浮立

(4)北地域のまちづくり方針

【土地利用･市街地整備】

・中心拠点、観光拠点を支える拠点市街地にふさわしい、利便性が高く快適な土地利用を目指します。
・立地適正化計画に基づく居住促進区域内の生活利便性の向上と、人口密度を維持するための施策を実行し、空家や空き地等の低未利用地の有効活用を行います。
・西ノ原土地区画整理事業及び井石地区の都市再生整備事業の推進により、安全で利便性の高い観光拠点の形成を目指します。
・波佐見テクノパークでは、精密機器・機械製造の大規模工場が 2010 年に操業を開始し、本町の製造業の主力を担っており、隣接する波佐見町営工業団地と併せて、波佐見テクノパーク周辺を工業地として位置づけ、西九州自動車道の波佐見有田インターチェンジの広域交通ネットワークを活かし、工業拠点としての土地利用を促進します。
・地域内の自然地（山林や農地）を保全し、ゆとりある田園風景を維持します。
・やきもの工場と住宅等の混在する地区において、「やきものの町」らしい、歴史や文化が感じられるまちづくりや、観光振興による活性化について検討します。

【道路･交通】

・主要幹線道路の整備を促進します。
・主要な道路を結ぶ、また交通混雑の解消となる補助幹線道路の整備を進めます。
・波佐見縦貫線（都市計画道路）の維持管理を推進します。
・町民の移動手段として、自動車が中心となっていますが、交通弱者の大切な移動手段である、路線バス「佐世保・嬉野線」や、「かわたな・はさみタウンバス」、予約制乗合交通「チョイソコのんなっせ号」などの運行上の課題に取り組み、交通利便性の向上を図ります。
・公共交通の利用状況を把握し、町民の生活利便性の向上に向けた公共交通のあり方について検討します。

【公共公益施設】

・生活環境の改善と海や河川の水質汚濁防止のため、国・県の補助を受けて、下水道整備を重点的に進めつつ、 それ以外の地域においては浄化槽設置整備事業も含め、それぞれの特徴を生かした効率的な整備を目指します。
・町民や、地域住民の生活利便性の向上に向けて、図書館等の文化施設のリニューアルを実施します。
・老朽化が懸念される施設は、老朽化対策について検討します。

【みどり･景観】

・やきもの公園をはじめとする公園の長寿命化など、必要な整備や維持管理を行います。
・山林の適正な維持管理と、自然環境の保全・活用を図ります。
・川棚川などの河川環境の保全や利活用に取り組み、子どもたちの自然環境へのふれあいや防災教育の機会を創出します。

・波佐見らしい優れた景観を守り育てていくために、景観条例及び景観計画により、良好な景観の保全と形成を推進します。

【防災】

・主要地方道佐世保・嬉野線に隣接した急傾斜地の改善を図ります。

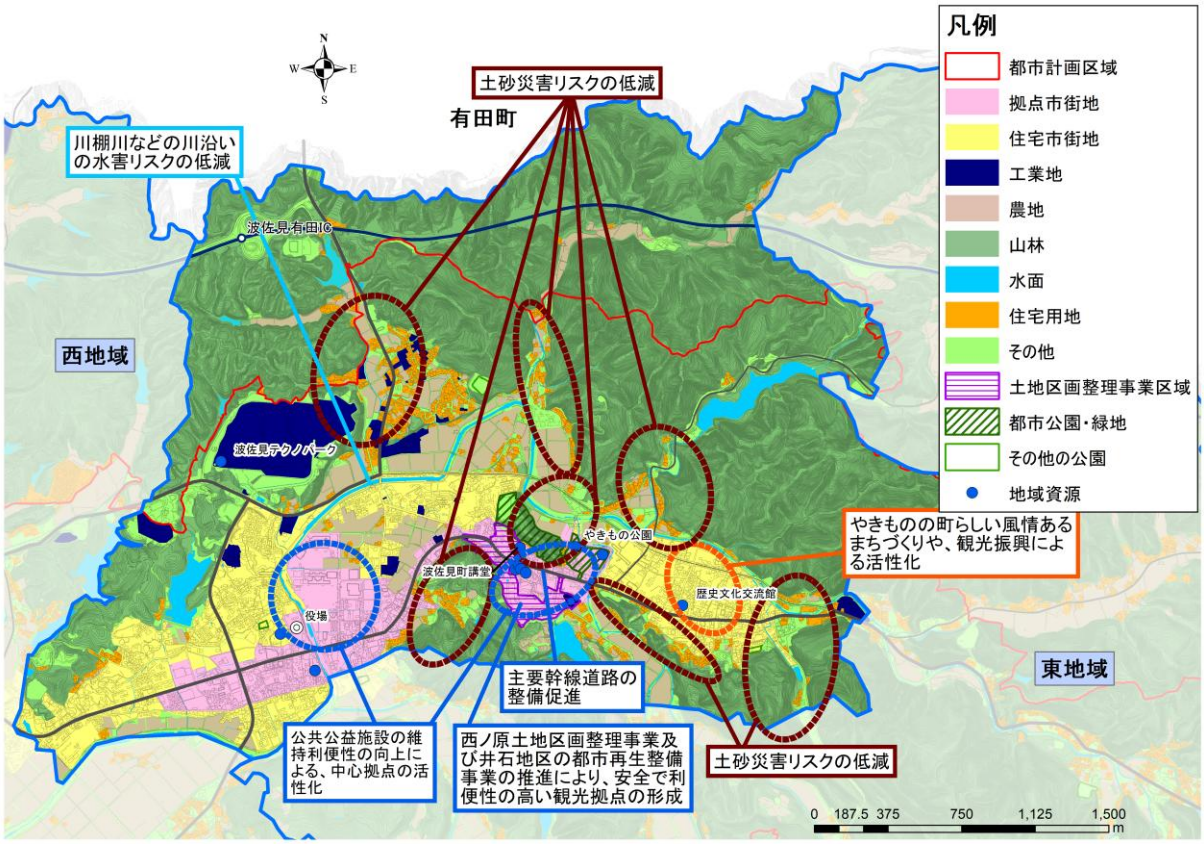
・生活道路の配置による空間の確保や建物の不燃化により、建物が密集している箇所の地震、火災時の安全性の向上を図ります。

【生活環境】

・遺跡の周辺を含めた整備や山中浮立などの伝統芸能における後継者の育成等、遺跡相互や伝統事との連携による、地区の資源を観光資源として整備を進めることにより、遺跡等の保存や認知度の向上を図ります。

・地域内の寺社や史跡などは、波佐見の歴史や文化を伝える資源であり、将来に受け継いでいくべきものであるため、町民とともに保存と利活用について検討し、地域の活性化や観光によるにぎわいの創出に取り組みます。

■北地域　まちづくり方針図



□施設等　□水害　□土砂災害　□地域資源等

2. 西地域のまちづくりの方針

(1)西地域の現況

【人口】

・村木郷、皿山郷、稗木場郷、田ノ頭郷、川内郷、甲長野郷、乙長野郷、協和郷、志折郷、平野郷、岳辺田郷で構成されており、人口は年々減少し、世帯数は増加しています。

・一部には新興住宅地が形成され、人口が増加した地区も見られます。

【土地利用】

・3 地域の中で最も水田の比率が高く、地域の中央を南北に流下している川棚川と、それに流入している村木川、皿山川、長野川、志折川、川内川に沿って良好な水田が広がっています。

・幹線道路沿道に商工業施設及び住宅が立地しています。

・波佐見高校、南小学校、農村環境改善センター等の公共施設があります。

・北東部には根比呂池、百貫池があり、中央部には野鳥の住む耳取池や川棚川に昔から残る岩場など、自然景観に恵まれています。

【地域資源】

・屋外スポーツ施設や児童遊具、緑地、展望台を備えた鴻ノ巣公園があり、屋外スポーツ・レクリエーションの中心地です。

・効能に優れた波佐見温泉があります。

・「桜づつみロード」はイベント開催時や地域住民に利活用されています。

・西九州自動車道の通過地点に「アーチ五連橋」があります。

・皿山郷の集落には窯元の工場を象徴する煉瓦造りの煙突が点在しています。

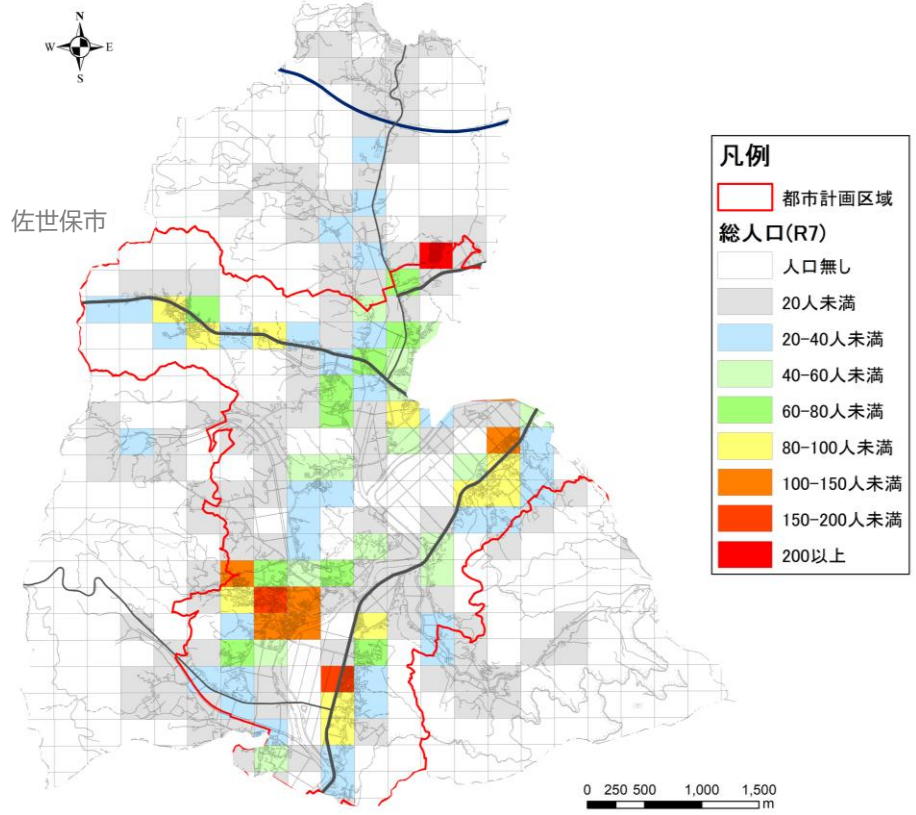
・国指定史跡「肥前波佐見陶磁器窯跡（畑ノ原窯跡）」をはじめとする古窯跡がたくさんあり、県指定無形民俗文化財である皿山の人形浄瑠璃や、町指定無形民俗文化財の協和浮立があります。



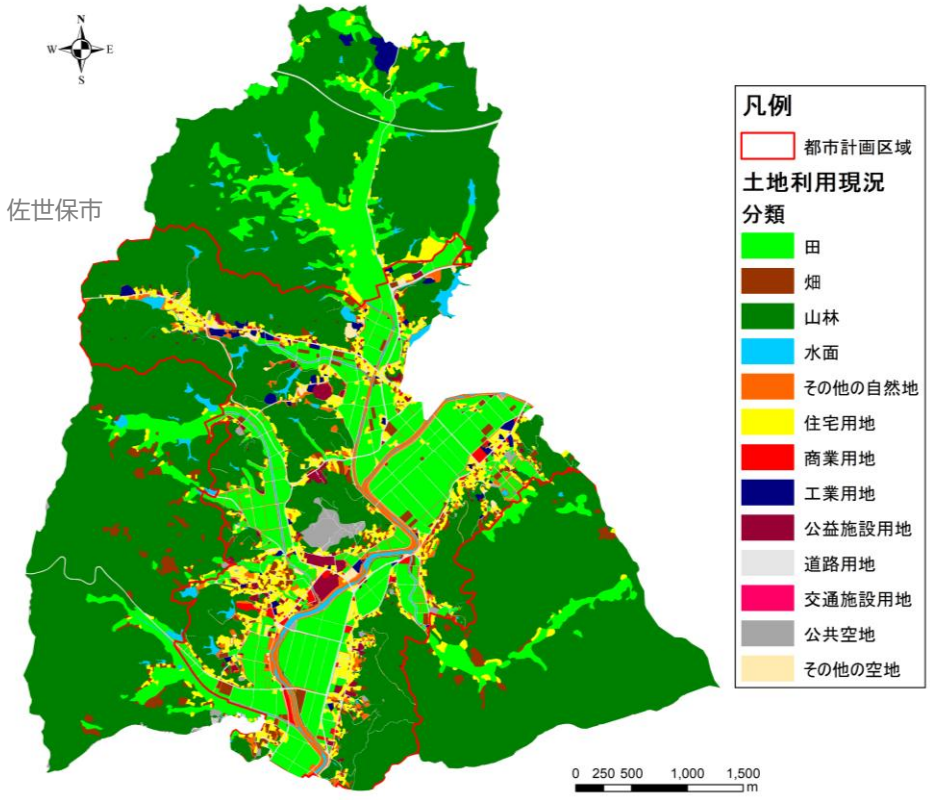
桜づつみロード（夜桜）



皿山人形浄瑠璃



■ 西地域　令和 7 年総人口　250m メッシュ図(住民基本台帳)



■ 西地域　土地利用現況図

(2)西地域の課題

【土地利用･市街地整備】

・農地転用により幹線道路沿道や市街地の縁辺部での住宅開発が進み、自然環境が減少しています。
・皿山郷には空家が点在し、老朽化が進んでいるものもあり、地域の活性化やにぎわい創出のため、老朽化や利活用についての対策が求められます。
・高齢化に伴い、耕作放棄地によって耕作条件が不利な農地の遊休化が進んでいます。
・山林所有者の高齢化や担い手不足などにより、スギ・ヒノキ人工林の間伐が遅れるなど、十分な管理がなされていない状況です。
・イノシシ等による農地の鳥獣被害が多く見られます。

【道路･交通】

・川棚川にかかる橋梁の幅員が狭いところがあります。
・生活道路の幅員が狭い箇所があります。
・波佐見高校への通学利便性の向上が必要です。

【公共公益施設】

・将来、波佐見温泉の安定供給を図るため、新泉源の適切な維持管理が必要です。

【みどり･景観】

・鴻ノ巣公園を安全で快適に利用するため、進入路の整備（グラウンド）や長寿命化などの適切な維持管理が必要です。
・太陽光発電施設の整備により、山林や農地等の自然環境が減少しています。

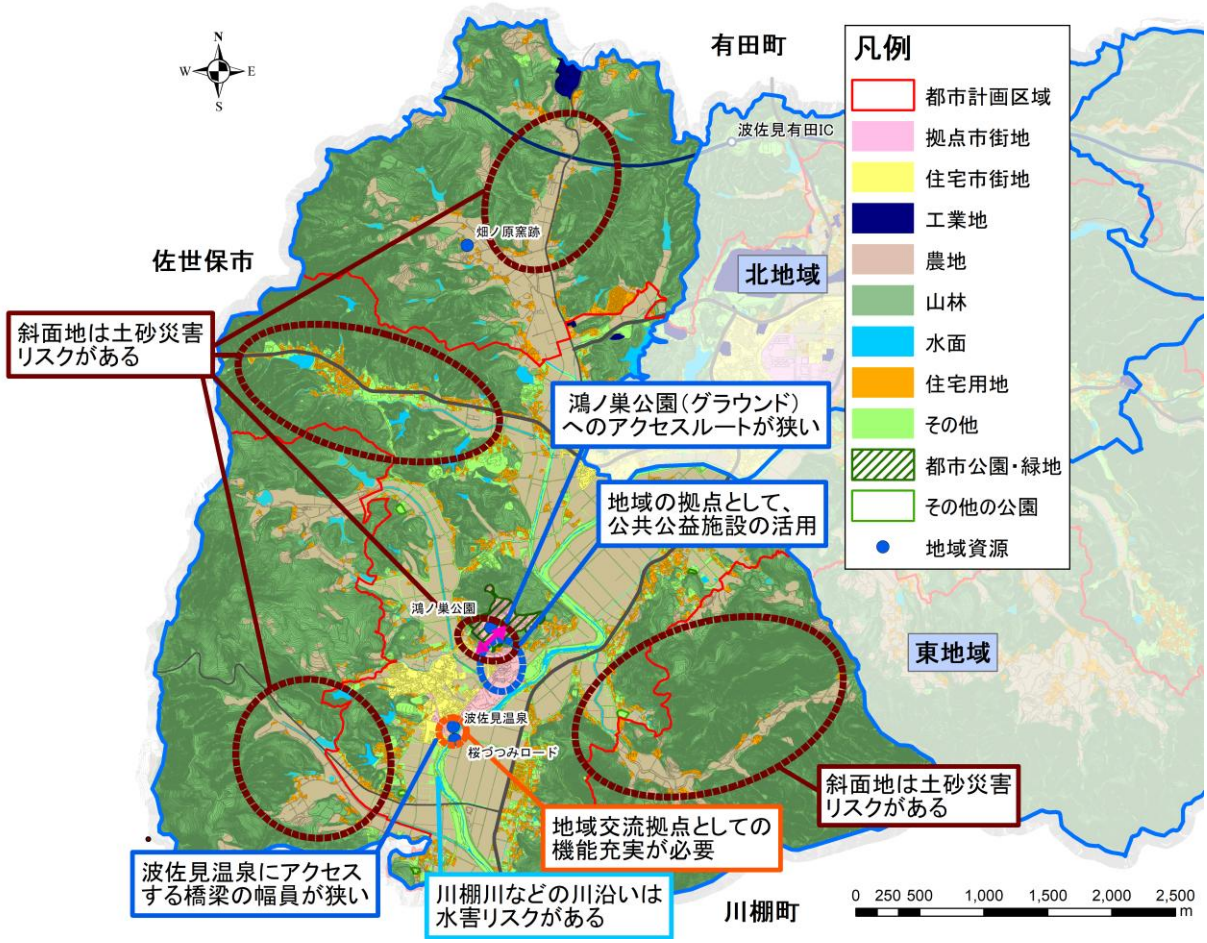
【防災】

・集中豪雨や台風などの際に、想定最大規模の降雨による川棚川等の河川浸水のリスクや、ため池の堤防決壊等による浸水リスクが高い地区があります。
・大規模災害時に急傾斜地の崩壊による、住宅の倒壊、主要幹線道路が閉塞するリスクがあります。

【生活環境】

・歴史・文化のある地域資源の保全と有効活用による地域活性化や観光振興が求められます。
・皿山人形浄瑠璃保存会や協和浮立の後継者の育成、確保が必要です。

■西地域　課題図



□施設等　□水害　□土砂災害　□地域資源等

（3）西地域のまちづくりの目標と方針

■西地域のまちづくりの目標

波佐見温泉とのどかな田園風景を活かした　観光交流まちづくり

- **昔から町民に親しまれてきた波佐見温泉を、地域住民の憩いと観光客の交流の場として位置づけ、地域の新たな活力を創出する「地域交流拠点」の形成を推進します。**
- **にぎわいと交流をもたらす「地域交流拠点」と、良好な住環境を備えた「居住促進地域」のバランスある発展を図り、川棚川の流域に広がるのどかな田園風景と調和した、魅力ある拠点市街地を形成します。**



波佐見温泉



鴻ノ巣公園



はさみ夏まつり



波佐見温泉 ONSEN･ガストロノミーウォーキング　in　長崎･波佐見



畑ノ原窯跡（国史跡）



RV パーク smart　ミナミ田園パーク

(4)西地域のまちづくり方針

【土地利用･市街地整備】

・地域交流拠点として、波佐見温泉、観光施設等と鴻ノ巣公園を、にぎわいや交流を形成する拠点にふさわしい整備と維持を図り、一体的な地区づくりを進めます。
・立地適正化計画に基づく居住促進区域内の生活利便性の向上と人口密度の維持のための施策を実行し、空家や空き地等の低未利用地の有効活用を行います。
・にぎわいを創出するため、既存施設や集落内の空き地等の利活用を検討します。
・地域内の自然地（山林や農地）を保全し、ゆとりある田園風景を維持します。

【道路･交通】

・主要幹線道路の整備促進を進めます。
・主要な道路を結ぶ補助幹線の整備を進め、交通混雑を解消します。
・温泉地区に配慮した道路網を計画します。
・町民の移動手段として、自動車が中心となっていますが、交通弱者の大切な移動手段である、「かわたな・はさみタウンバス」、予約制乗合交通「チョイソコのんなっせ号」などの運行上の課題に取り組み、交通利便性の向上を図ります。
・公共交通の利用状況を把握し、町民の生活利便性の向上に向けた、公共交通のあり方について検討します。

【公共公益施設】

・地域住民の生活利便性の向上や、農村環境改善センターや鴻ノ巣公園の維持管理に努め、施設の老朽化対策について検討します。
・生活環境の改善と海や河川の水質汚濁防止のため、国・県の補助を受けて、浄化槽設置整備事業を中心的事業としつつ、それ以外の地域においては下水道事業も含め、それぞれの特徴を生かした効率的な整備を目指します。



農村環境改善センター

【みどり･景観】

・鴻ノ巣公園をはじめとする公園や、川棚川の桜づつみロードなどの自然環境に触れ合うスペースについて、安全に利用するための長寿命化や必要な整備、維持管理を行います。
・波佐見らしい優れた景観を守り育てていくために、景観条例及び景観計画により、良好な景観の保全と形成を推進します。

【防災】

・河川の浸水リスクや避難の情報について住民への周知を図ります。
・生活道路の配置による空間の確保や建物の不燃化に加え、消火栓の設置などを進め、建物が密集した箇所の安全性の確保を図ります。

【生活環境】

・遺跡の周辺を含めた整備や協和浮立などの伝統芸能における後継者の育成等、遺跡相互や伝統事との連携による、地区の資源を観光資源として整備を進めることにより、遺跡等の保存や認知度の向上を図ります。

・地域内の寺社や史跡などは、波佐見の歴史や文化を伝える資源であり、将来に受け継いでいくべきものであるため、町民とともに保存と利活用について検討し、地域の活性化や観光によるにぎわいの創出に取り組みます。

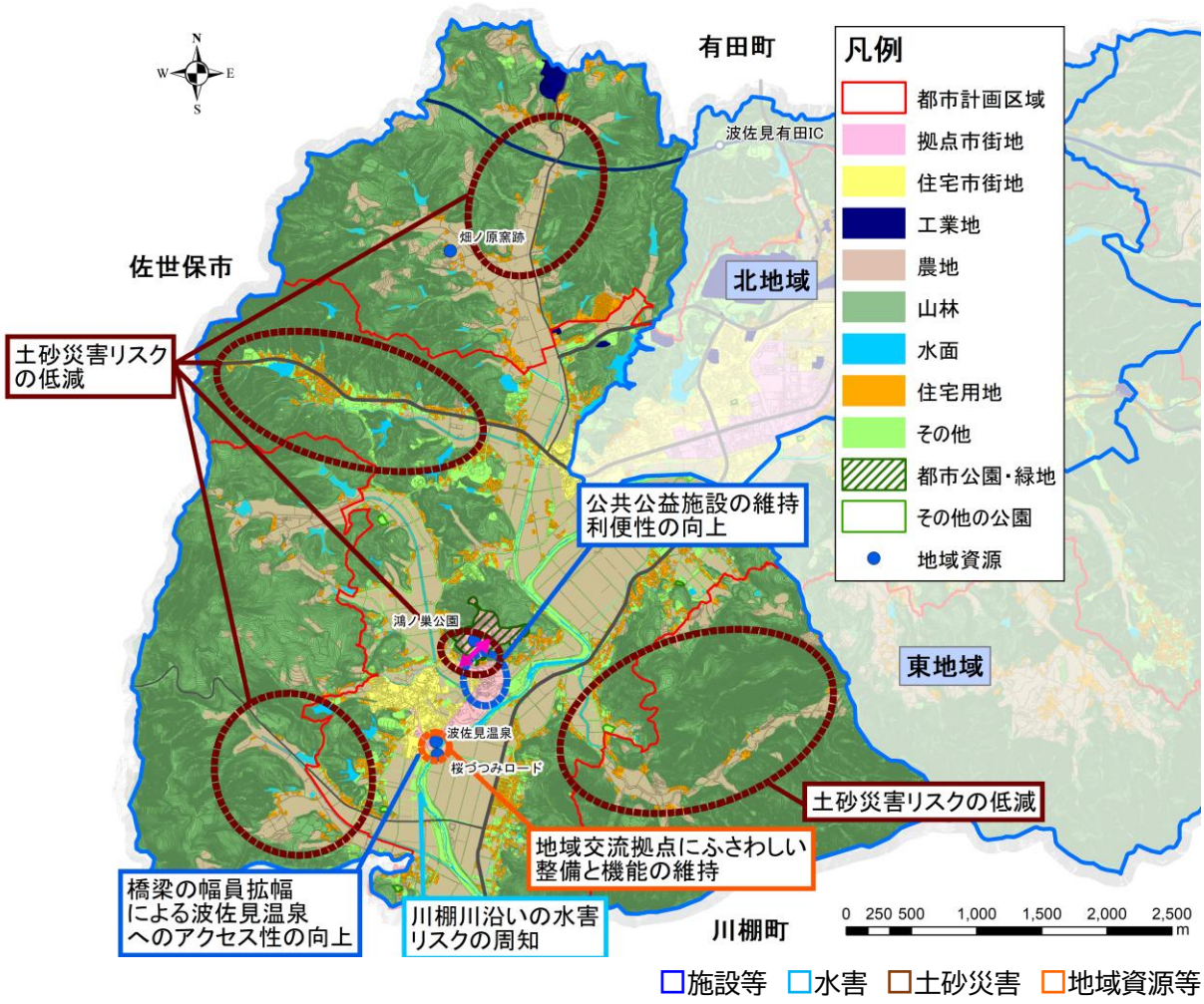


協和浮立



波佐美神社

■西地域　まちづくり方針図



3. 東地域のまちづくりの方針

(1)東地域の現況

【人口】

・野々川郷、小樽郷、永尾郷、中尾郷、三股郷、鬼木郷、金屋郷と井石郷の南部で構成されており、3 地域の中で最も人口が少ない地域で、人口は年々減少しており、世帯数も微減しています。

【土地利用】

・3 地域の中で最も山林の比率が高く、大部分が山地で、野々川川、小樽川、永尾川、中尾川、井石川、金屋川に沿って水田があり、河川沿いに形成される傾斜の緩やかな斜面地及び平地に集落があります。
・山間地では狭小で曲がりくねった坂道に面して石垣が築かれ、住宅ややきもの工場が軒を連ねており、中尾郷の集落には、煉瓦造りの窯元の煙突が点在しています。
・山麓地は階段状に広がる水田、畑、雑木林の中に、比較的大きな構えを持つ農家住宅が点在しています。

【地域資源】

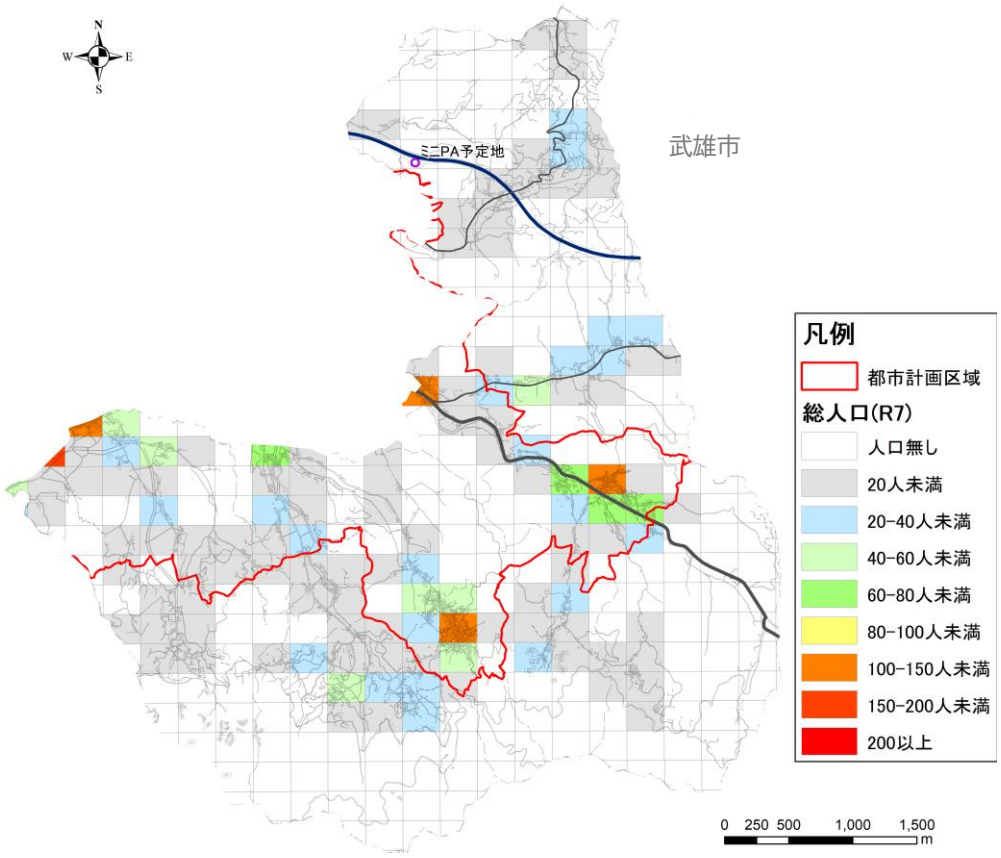
・鬼木郷の馬蹄形に広がった丘陵には、石積みの棚田が見事な「鬼木棚田」があり、美しい景観を維持しています。棚田百選にも選ばれています。
・中尾郷と鬼木郷は、重要文化的景観に選定され、窯業と農業の生業によって受け継がれてきた、昔ながらの集落及び棚田の景観が見られます。
・国指定史跡「肥前波佐見陶磁窯跡（三股青磁窯跡、長田山窯跡、中尾上登窯跡、永尾本登窯跡、皿山役所跡、三股砥石川陶石採石場跡)」の 4 基の窯跡と 2 か所の窯業関連遺跡があります。
・県指定史跡の波佐見町のキリシタン墓碑群や町指定史跡の境野一本杉跡があります。
・町指定無形民俗文化財の鬼木鉦浮立、野々川浮立があります。
・中尾郷では桜陶祭、秋陶めぐり、鬼木郷では鬼木棚田まつり等のイベントが開かれ、多くの観光客が訪れます。



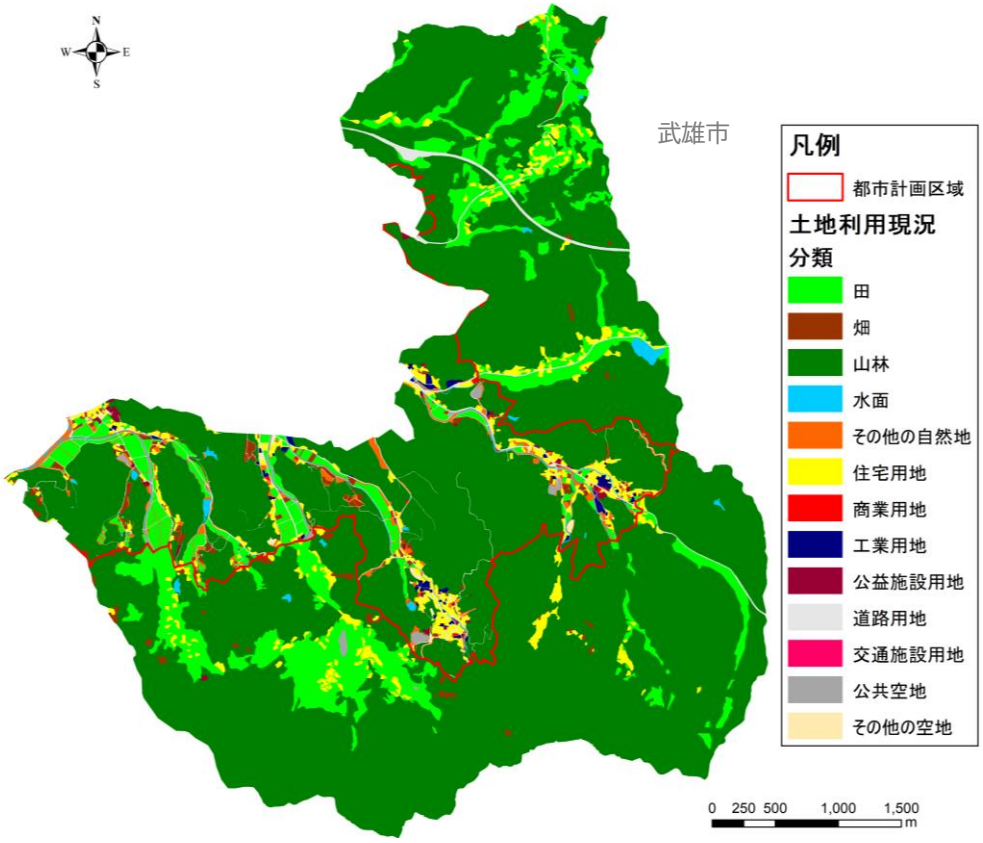
桜陶祭



鬼木棚田まつりとかかしコンテスト



■ 東地域　令和 7 年総人口　250m メッシュ図(住民基本台帳)



■ 東地域　土地利用現況図

(2)東地域の課題

【土地利用･市街地整備】

・3 地域の中で住宅やその他建築物の新築が最も少ない状況です。
・中尾郷や永尾郷には空家が点在し、その中で中尾郷は老朽化が進んでおり、地域の活性化やにぎわい創出のため、空家の老朽化や利活用についての対策が求められます。
・高齢化に伴い、耕作放棄地によって耕作条件が不利な農地の遊休化が進んでいます。
・山林所有者の高齢化や担い手不足などにより、スギ・ヒノキ人工林の間伐が遅れるなど、十分な管理がなされていない状況です。
・イノシシ等による農地の鳥獣被害が多く見られます。

【道路･交通】

・狭あい道路や、急カーブなど、通行上危険な箇所があります。
・急勾配の道路があり、高齢者等の移動に負担がかかっており、車を持たない高齢者等の買い物や通院等のための移動手段が求められています。
・中尾山をはじめ周辺で、イベント開催時には駐車場が不足しています。

【公共公益施設】

・旧東小学校永尾分校は地域の避難所でありながら、施設の老朽化が懸念されます。

【みどり･景観】

・太陽光発電施設の整備などにより、山林や農地等の自然環境が減少しています。

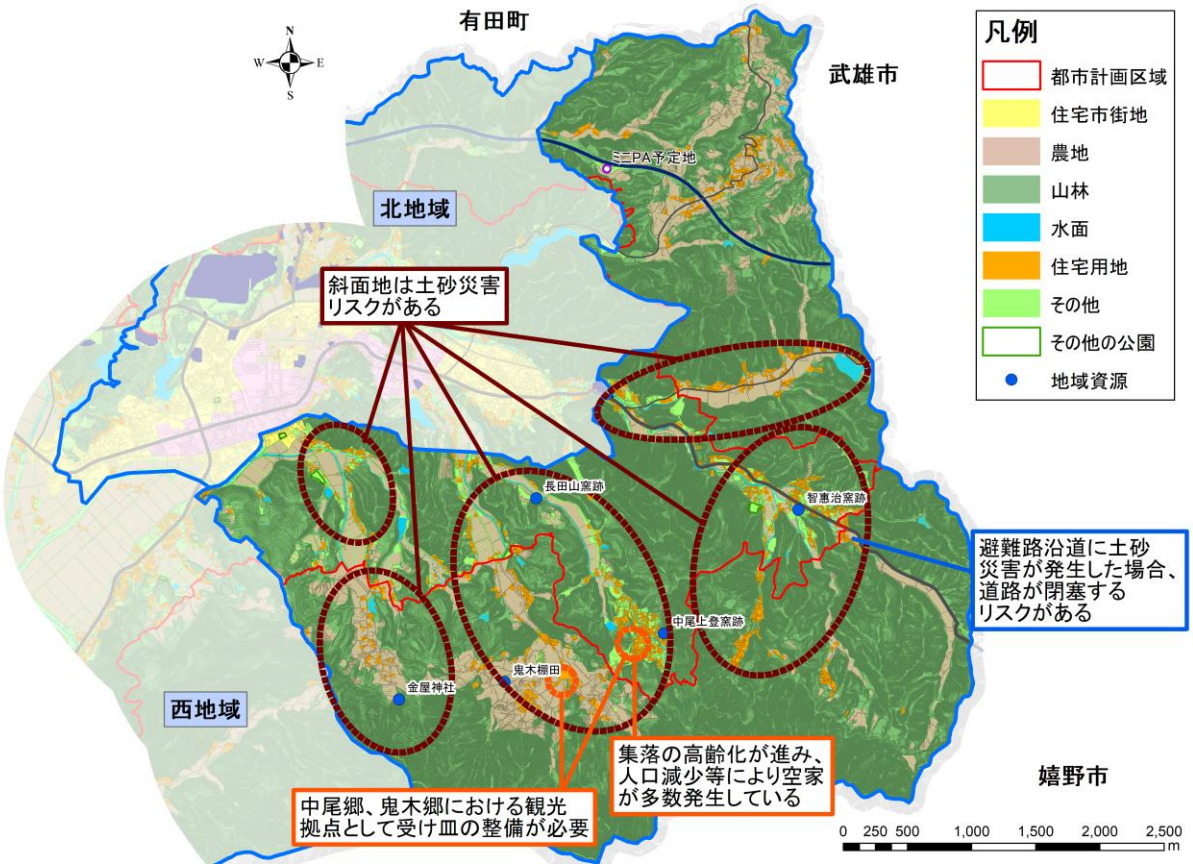
【防災】

・集中豪雨や台風などの際に、想定最大規模の降雨による川棚川等の河川浸水のリスクや、ため池の堤防決壊等による浸水リスクが高い地区があります。
・台風や集中豪雨により、山林での土砂災害が発生するなど、生活の安全性の確保が求められます。
・大規模災害時に急傾斜地の崩壊により、住宅の倒壊、主要幹線道路が閉塞するリスクがあります。
・中尾郷などの住宅が密集した地区では、生活道路の幅員が狭い箇所があり、火災発生時の消火活動に支障が起きる可能性があります。

【生活環境】

・地区の人口が減少傾向、また高齢化が著しく、地域の活力が衰退しており、地域の活性化のための祭りやイベント等の開催に対して、継続が難しくなってきています。
・歴史・文化のある地域資源の保全と有効活用による地域活性化や観光振興が求められます。
・文化的景観の観点から中尾山の「やきものの里」のイメージ(煙突群や窯跡等)や鬼木棚田の、良好な景観の保全と活用が必要です。
・鬼木鉦浮立、野々川浮立の後継者の育成、確保が必要です。

■東地域　課題図



□施設等　□土砂災害　□地域資源等

（3）東地域のまちづくりの目標と方針

■東地域のまちづくりの目標

波佐見焼の歴史文化と豊かな自然が調和した
安らぎと活力あるまちづくり

・波佐見焼の発展を支えてきた窯業集落や史跡、文化、そして四季折々の豊かな棚田や山林を地域の大切な資源として保全・活用し、地域住民の「安らぎ」と訪れる人々の交流を生み出す拠点の形成を推進します。

・歴史と自然が調和したゆとりある良好な住環境を維持しつつ、伝統文化や自然を体感できる観光・学習の仕組みを充実させることで、地域に新たな「活力」をもたらす魅力的なまちづくりを図ります。



中尾郷の路地



中尾上登窯跡



智恵治（ちえじ）窯跡



金屋神社



鬼木棚田



鬼木鉦浮立（おにぎかねぶりゅう）



野々川浮立

(4)東地域のまちづくり方針

【土地利用･市街地整備】

･「波佐見中尾皿山と鬼木棚田の文化的景観」を広く PR するため、景観拠点の整備を推進し、地域のにぎわいを生みだすための活性化について検討します。
・中尾、三股、永尾地区における、波佐見焼産地の歴史的な地域である「皿山」のイメージを保全します。
・にぎわいを創出するため、既存施設や集落内の空き地等についての利活用を検討します。
・地域内の自然地（山林や農地）を保全し、里山を維持します。

【道路･交通】

・主要幹線道路の整備促進を進めます。
・生活道路の整備、また林道を結ぶ道路を整備し、周回化を図ります。
・狭あい道路の安全性の確保に努めます。
・町民の移動手段として、自動車が中心となっていますが、交通弱者の大切な移動手段である、路線バス「佐世保・嬉野線」や、「かわたな・はさみタウンバス」、予約制乗合交通「チョイソコのんなっせ号」などの運行上の課題に取り組み、交通利便性の向上を図ります。
・公共交通の利用状況を把握し、町民の生活利便性の向上に向けた、公共交通のあり方について検討します。

【公共公益施設】

・観光拠点としての機能強化のため、中尾山伝習館や鬼木古民家宿泊施設「キヨトテラス」の魅力向上を図りながら、効率的な維持管理を行います。
・老朽化が懸念される施設は、老朽化対策について検討します。
・生活環境の改善と海や河川の水質汚濁防止のため、国・県の補助を受けて、浄化槽設置整備事業を中心的事業としつつ、それ以外の地域においては下水道事業も含め、それぞれの特徴を生かした効率的な整備を目指します。

【みどり･景観】

・波佐見らしい優れた景観を守り育てていくために、景観条例及び景観計画により、良好な景観の保全と形成を推進します。
・中尾郷の窯業集落と、鬼木郷の農業集落の特徴的な営みの景観は、国の重要文化的景観として選定され、本町の資産として重点景観計画及び重要文化的景観保存活用計画により良好な景観を保全・形成と活用を行い、窯業と農業の活性化につなげます。

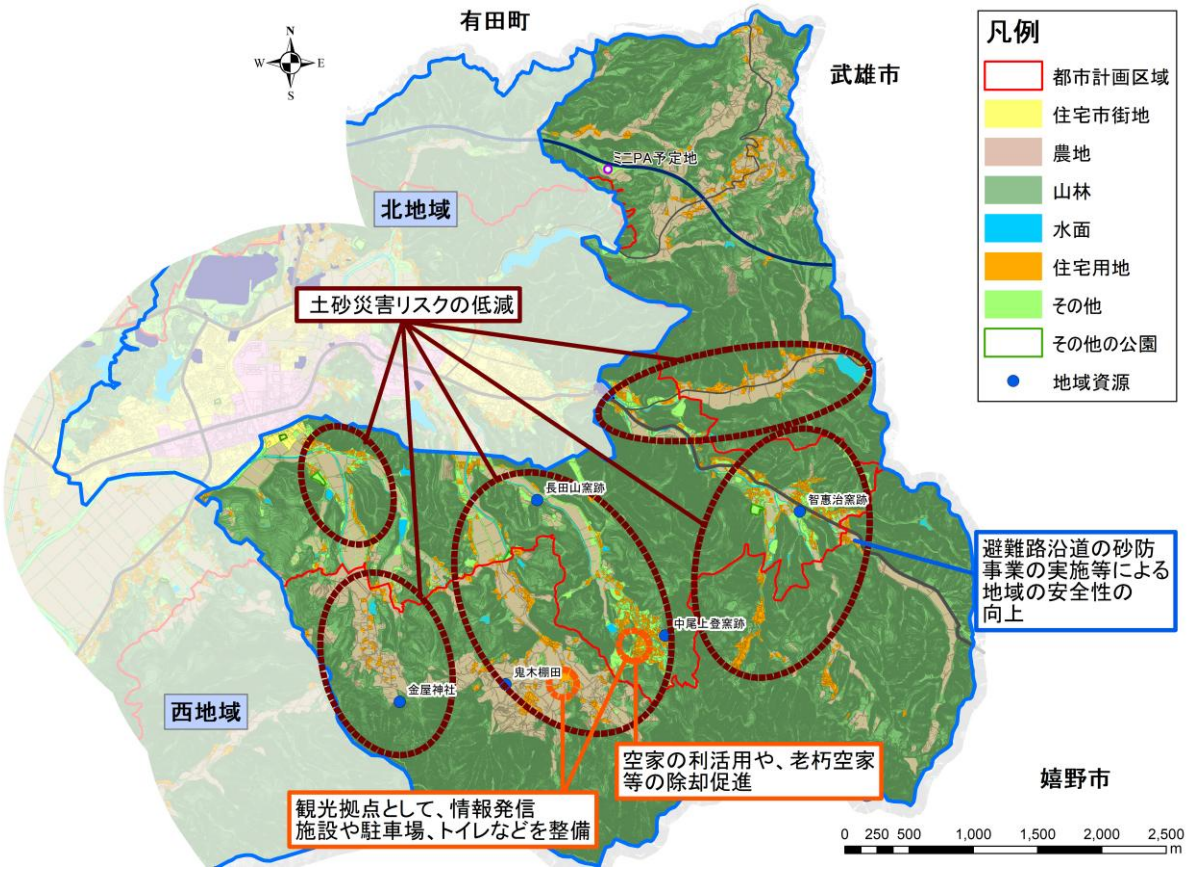
【防災】

・生活道路の配置による空間の確保や建物の不燃化に加え、消火栓の設置などを進め、建物が密集した箇所の安全性の確保を図ります。
・山間地や主要地方道佐世保・嬉野線も隣接した急傾斜地の改善を図ります。

【生活環境】

・遺跡の周辺を含めた整備や鬼木鉦浮立や野々川浮立などの伝統芸能における後継者の育成等、遺跡相互や伝統事との連携による、地区の資源を観光資源として整備を進めることにより、遺跡等の保存や認知度の向上を図ります。
・地域内の寺社や史跡などは、波佐見の歴史や文化を伝える資源であり、将来に受け継いでいくべきものであるため、町民とともに保存と利活用について検討し、地域の活性化や観光によるにぎわいの創出に取り組みます。

■東地域　まちづくり方針図



□施設等　□土砂災害　□地域資源等